

2025年度入試 文学研究科 解答又は解答例及び出題意図

課程	博士課程前期
実施期	I 期
科目名	文化人類学
	解答又は解答例 及び出題意図
〔Ⅰ〕	〔出題意図〕 近年の文化人類学における「多文化共生」研究の隆盛をうけて、それを実際に調査研究を実施する場合を想定し、その構想にどのように反映させるかについて、研究立案能力を問うた。①研究題目、②研究の目的と課題設定の背景、③研究対象と方法、④主な研究内容を示す目次構成、⑤予想される成果、の各記述項目を説明することにより、妥当なリサーチデザインを組み立てられる能力を有するかどうかを問うているところがポイントである。
〔Ⅱ〕	〔出題意図〕 いずれの語句説明問題も、近年注目されている文化人類学の基本的概念や専門用語についての基本的理解ができているかどうかを問うものである。なお、いずれの語句も基本的なものであるため解答(模範解答)は省略する。 1. ネットロア(netlore) 2. 文化資本 (cultural capital) 3. 民族に関する原初論的アプローチ (primordialist approach; primordialism) と動員論的アプローチ (instrumentalist approach; instrumentalism) 4. クイア理論(queer theory) (queer theory) 5. 文化の変化や発展に関する「消滅の語り」と「生成の語り」
〔Ⅲ〕	〔出題意図〕 文化人類学史上、大きな貢献をはたした文化人類学者の業績を説明することを通して、文化人類学の学説的積み上げを説明できるかを問うものである。なお、いずれの文化人類学者も著名であるため解答(模範解答)は省略する。 1. クロード・レヴィ＝ストロース (Claude Lévi-Strauss) 2. ルース・ベネディクト(Ruth Benedict) 3. クリフォード・ギアツ (Clifford Geertz) 4. 岡正雄

